

Vanguard®

バンガード・パシフィックETF

VPL

02 | 2010年6月30日現在

> 概要

ベンチマーク

MSCI パシフィック・インデックス

経費率¹

0.16%

配当スケジュール

年1回

ETF純資産総額

12.78億米ドル

設定日

2005年3月4日

> 取引情報

ティッカー・シンボル

VPL

CUSIP 番号

922042866

IIV (イントラデイ・ティッカー)

VPL.IV

インデックス・ティッカー

MXPC

リード・マーケットメーカー

SIG Index Specialists, LLC.

上場取引所

NYSE Arca

投資アプローチ

- インデックス連動アプローチによって、日本を含む太平洋地域の株式市場への幅広いエクスポージャーを提供します。
- MSCI® パシフィック・インデックスへの連動を目指します。
- 完全法を用いて、インデックス構成銘柄すべてを、インデックスとほぼ同じ時価ウェイト比率で組み入れたポートフォリオを構成します。
- 効率的でコスト効率にも優れたインデックス運用手法を採用します。

ベンチマークについて

- MSCI パシフィック・インデックスは、太平洋地域の株式市場のパフォーマンスを幅広く反映するように構成されています。
- 日本、オーストラリア、香港、ニュージーランド、シンガポールが含まれています。

ETFの主なデータ

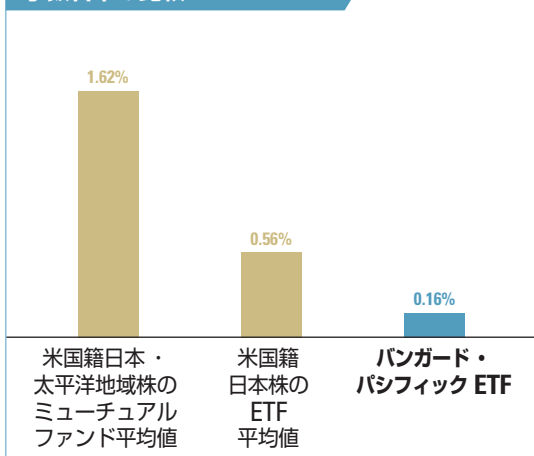
	バンガード・パシフィックETF	MSCI パシフィック・インデックス
構成株式銘柄数	492	489
時価総額の中位値	161億米ドル	161億米ドル
株価収益率	21.8x	21.9x
株価純資産倍率	1.3x	1.3x
株主資本利益率	12.7%	12.7%
利益成長率	-2.6%	-2.6%
株式利回り	2.7%	2.7%
売買回転率 ²	8.4%	—
標準偏差 ³	22.3%	21.8%

¹ 直近の目論見書の記載から。ファンドの現在の経費率は、目論見書に記載されている数値よりも低い、または高い可能性があります。

² 最新の会計年度の数字。売買回転率の計算では、バンガードETFクリエーション・ユニットなど当ETFの設定または交換をポートフォリオ株式の現物授受によって行う場合には、そのポートフォリオ株式の価額は含まれません。

³ ファンドの変動率の指標の一つで、過去のリターン分散の程度を示します。過去3年間の月次リターンを基に計算し、標準偏差の値が大きいほど、潜在的な変動率が高いこととなります。過去のパフォーマンス実績が36ヵ月に満たないファンドについては、標準偏差は計算されません。

手数料率の比較¹



上位10銘柄²

BHP Billiton Ltd.	3.3%
トヨタ自動車	3.0
Commonwealth Bank of Australia	2.0
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.8
Westpac Banking Corp.	1.7
本田技研工業	1.5
Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	1.4
キャノン	1.3
National Australia Bank Ltd.	1.3
三井住友フィナンシャル・グループ	1.2
純資産総額に占める上位10銘柄の割合	18.5%

国別分散比率

オーストラリア	22.6%	ニュージーランド	0.3%
香港	7.1	シンガポール	4.7
日本	65.2		

Vanguard ETF®は、
インデックス・ファンドを
リードするバンガードの
専門知識を活かした
低コストの上場投資信託です。

パフォーマンス実績

2010年6月30日までのトータルリターン³

VPL (設定 2005年3月4日)	四半期	年初来	1年間	3年間	5年間	設定来
基準価額 (NAV) リターン ⁴	-12.53%	-6.87%	5.71%	-10.10%	2.07%	0.91%
市場価格リターン ⁵	-12.90	-7.26	5.76	-10.22	1.77	0.83
MSCI パシフィック・インデックス	-11.57	-6.02	6.41	-9.92	2.08	1.06

上に掲げたパフォーマンスのデータは過去の実績であり、今後の結果を保証するものではありません。投資リターンと元金価額は変動しますので、投資家はその持分を売却する時には、その価値が当初のコストを上回っていることも、また下回っていることもあります。また現在のパフォーマンスは上述のデータを下回っていることも、また上回っていることもあります。直近の月末までのパフォーマンスのデータにつきましては、米国バンガードのウェブサイト www.vanguard.com/visit/etfperformance をご覧ください。

インデックスに直接投資することはできません。

投資商品：FDIC保険対象外・銀行保証なし・投資元金損失のリスクあり



¹ 直近の目録見書に記載されているバンガード ETF の経費率です。ミューチュアルファンドとETFとの間には大きな違いがあります。ETFはミューチュアルファンドと異なり、流通市場において終日にわたって絶えず値付けされ、証券ブローカーの仲介によって（基準価額にプレミアム/ディスカウントを加えて）売買されています。そして、この仲介に対しては手数料が支払われることとなります。

出所：Lipper Inc.およびVanguard 2009年12月31日

² 「上位10銘柄」には、一時的な現金投資およびインデックス商品は含みません。

³ 1年未満の期間の数値は累積のリターンです。それ以外の数値は平均の年次リターン率を示しています。パフォーマンス実績は、配当金とキャピタルゲインの再投資も含まれており、税引前および経費差引後の数値です。比較のために広く用いられている上記のインデックスが示しているのは、さまざまな金融資産に対する、ファンドマネジャーによる運用がされていないインデックスのリターン、あるいは平均リターンであり、ファンドの相対的なパフォーマンスを検討する上で、当ファンドの総リターンとの比較対象となります。

⁴ 米国東部時間午後4時、すなわちニューヨーク証券取引所の大引け時の基準価額。

⁵ 市場価格リターンは、NAVの計算が行われる時間、すなわち通常は米国東部時間午後4時における売り買い気配値の中間値を用いて計算します。

バンガードETFは、総計単位でのクリエーション・ユニットによってのみ交換（解約）され、ファンドからは解約できません。投資家は、流通市場において証券ブローカーの仲介により、バンガードETFの株式の売買を行わなければなりません。その際、投資家には仲介手数料がかかり、ETF購入の際には基準価額を超える金額を支払い、また売却時には基準価額を下回る金額を受け取る可能性があります。

すべてのETF商品は株式市場のリスクにさらされているため、元金を失うおそれもあります。世界各国への投資を行うETF商品には、通貨の変動あるいは特定の国々や地域における混乱などのリスクが加わります。また新興国市場投資のETF商品のリスクは、一般的に先進諸国向け投資のETF商品よりも高くなります。

ここで紹介されているThe Vanguard GroupのMSCIインデックス連動型ファンドまたは証券に関して、MSCIはスポンサーではなく、またその保証ないし販売促進もしておらず、さらに、それらファンドまたは証券に関しての責任を負うものではありません。それらファンドまたは証券に関して、MSCIがThe Vanguard Groupとの間で有する限定的な関係については、目録見書に詳しく述べられています。

バンガードETFについての詳しい情報は取扱い証券会社にお問い合わせください。また、投資目的、リスク、手数料、経費、その他重要情報等を十分にご確認ください。